

1. NamingAssistant ソフト概要

名前作成の補助を行う Java ソフト(NamingAssistant.jar)で、2つ以上のワード群からワードを抽出して連結し名前候補を作成し、連結した名前候補を任意の Web 検索エンジンでチェックをして、結果存在しなければファイルに一覧としてその連結した名前候補を書込みます。任意の Web 検索エンジンですが、検索が正しく行えないものもあります。ワードの連結は群間で全ての並べ方で連結します。また群毎に連結位置を指定しても行えます。

【注意】扱える文字コードは各々の OS のデフォルト文字コードのみで、使用するテキストファイルの作成はデフォルト文字コードで行って下さい。配布している設定ファイル(Config.txt)の文字コードは Shift-JIS になっています。OS のデフォルト文字コードが違う場合は変更して下さい。

2. インストール

最新 Java8 ランタイムがインストール済みなら、インストールの必要はありません。解凍したファイル・フォルダを Java のパスの通ったところにコピーするだけです。

3. ソフト使用方法

3.1. 通常使用

ファイル NamingAssistant.jar をダブルクリックすると起動します。起動しない場合は Windows ではコマンド プロンプト上で、Linux では端末上で NamingAssistant.jar のパスを指定して例のように入力し改行します。

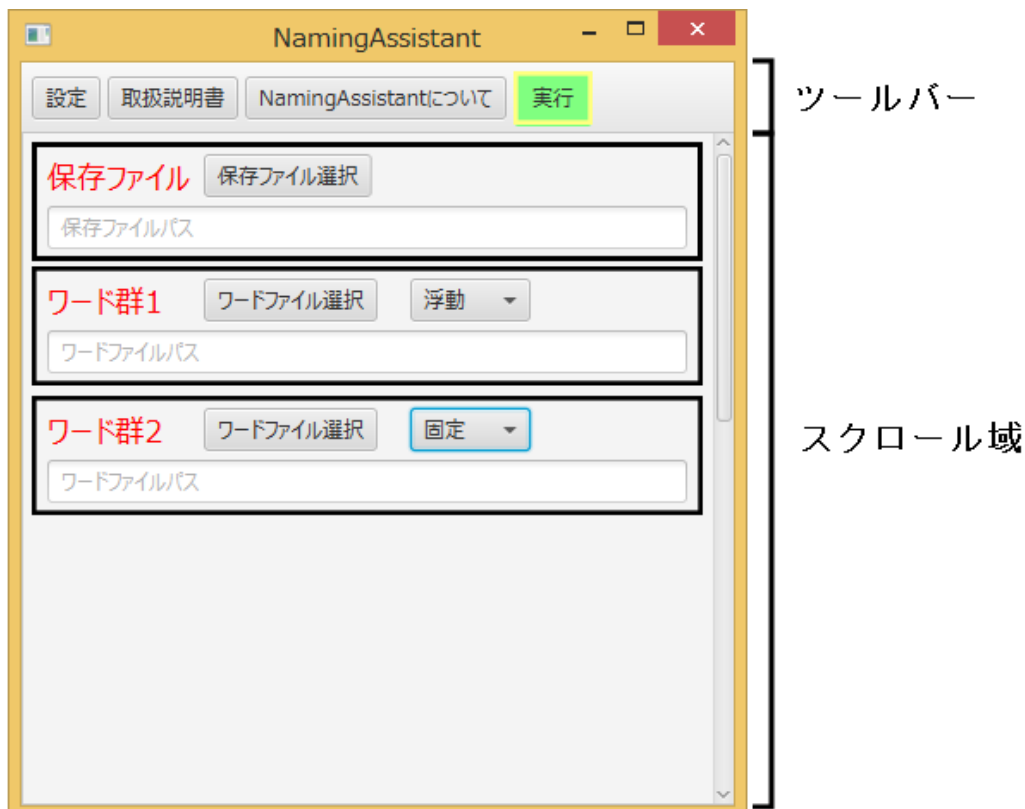
例) Windows

```
java -jar C:\NamingAssistant.jar
```

Linux

```
java -jar /NamingAssistant.jar
```

起動すると次図のような主画面が表示されます。上部にツールバーがあり、その下部にスクロール域があります。



《主画面》

3.1.1. ツールバー

ツールバーの各ボタンをクリックすると次の動作を行います。

[設定]ボタン

設定画面を開く。

[取扱説明書]ボタン

この取扱説明書の表示。

[NamingAssistant について]ボタン

NamingAssistant についての表示。

[実行]ボタン

処理の実行。

3.1.2. スクロール域

スクロールバーの操作によって上下にスクロールします。

3.1.2.1. 保存ファイル欄

保存ファイル欄の[保存ファイル選択]ボタンをクリックすると、保存ファイル選択画面が表示され、名前候補の一覧を保存するファイル名を選択できます。

3.1.2.2. ワード群欄

ワード群欄の各ボタンをクリックすると次の動作を行います。

[ワードファイル選択]ボタン

ワードファイル選択画面が表示され、ワードファイルを一つ選択できます。選択後、新しいワード群欄が追加され、ワードファイルを次々に追加できます。

但し追加したワードファイルが多いと、ワード群の並べ方が増えるので、名前候補の調査書込み処理に時間が掛かります。次項の位置固定指示選択が浮動の場合、ワード群の並べ方だけでワード群個数の階乗通りあり、これにワード群に記録されているワード個数が乗算されるので、名前候補の並べ方は莫大になります。

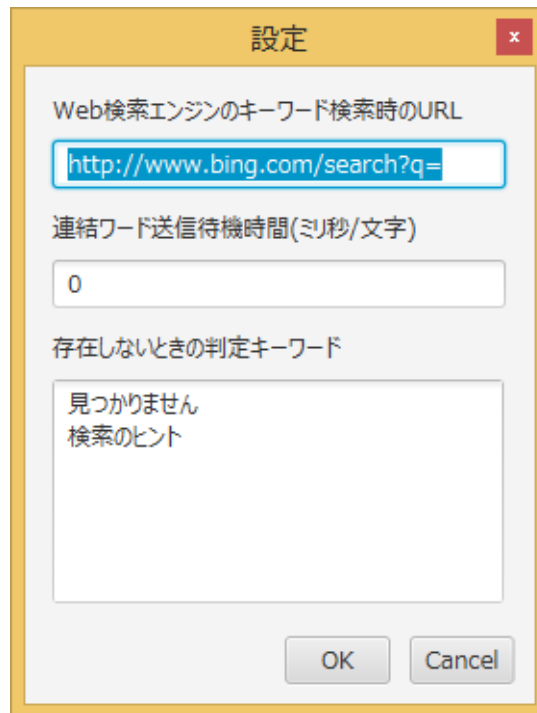
ワードファイルの作成はテキストエディタで、**デフォルト文字コード**で別途作成し保存します。記述の仕方は連結したいワードを1語1行で記載します。

[位置固定指示選択]ボタン

ワード群の並べ方位置指示として、浮動／固定の選択を行います。この選択はワードファイルを選択した順に関して浮動／固定と言う事です。

3.1.3. 設定

設定画面が次図です。初期時は予め Bing 検索エンジンの場合の設定にしています。



《設定画面》

3.1.3.1. Web 検索エンジンのキーワード検索時の URL

ここにキーワード検索時の URL を入力します。

現時点での主な Web 検索エンジンのキーワード検索時の URL は

Bing	http://www.bing.com/search?q=
Yahoo	http://search.yahoo.co.jp/search?p=
Google	残念ながら正しく行えません。

です。将来的に検索エンジン側で受け付けなくなったときは変更して下さい。

3.1.3.2. 連結ワード送信待機時間

連結ワードを Web 検索エンジンへ送信する待機時間 で、連結ワード1文字当たりの待機時間をミリ秒で指定します。

3.1.3.3. 存在しないときの判定キーワード

検索結果から存在しないと判断する判定キーワードを1語(行)ずつ入力します。入力されたキーワードが全て含まれた場合に存在しないと判断します。

3.1.3.4. OK ボタン

OK ボタンをクリックすると入力した設定を Java ソフトと同じ配下に設定ファイル(Config.txt)として保存します。

3.1.3.5. Cancel ボタン

Cancel ボタンをクリックすると設定に変更はありません。

3.2. コマンドラインでの使用

コマンドラインでの使用では引数を渡して実行すると、グラフィック画面は表示されず処理が完了します。

3.2.1. 設定ファイル(Config.txt)

Java ソフトと同じ配下に置かれた設定ファイル(Config.txt)に

一行目 : Web 検索エンジンのキーワード検索時の URL
二行目 : 連結ワードを Web 検索エンジンへ送信する待機時間(ミリ秒/文字)
三行目以降 : 検索結果から存在しないと判断する判定キーワード
をテキストエディタで記載しデフォルト文字コードで保存します。

例) 一行目 : http://www.bing.com/search?q=
二行目 : 0
三行目 : 見つかりません
四行目 : 検索のヒント

現時点での主な Web 検索エンジンのキーワード検索時の URL は

Bing http://www.bing.com/search?q=
Yahoo http://search.yahoo.co.jp/search?p=
Google 残念ながら正しく行えません。
です。

3.2.2. 実行

連結したいワードを記載したワード群をテキストファイルに1語1行で記載し、デフォルト文字コードで保存します。そしてワード群のファイル名などを引数として渡して実行します。

実行の仕方は Windows ではコマンド プロンプト上で、Linux では端末上で

NamingAssistant.jar のパスを指定し、引数を渡して以下のように入力し改行します。

例) Windows の場合はコマンド プロンプト上で

```
java -jar C:\NamingAssistant.jar C:\write.txt 01 C:\word1.txt C:\word2.txt
```

Linux の場合は端末上で

```
java -jar /NamingAssistant.jar /write.txt 01 /word1.txt /word2.txt
```

引数(NamingAssistant.jar 以降)は

第一引数: 結果保存ファイル名(パスを含む)
第二引数: 連結ワード群位置固定指示(0=浮動, 1=固定)
第三引数: 連結ワード群1ファイル名(パスを含む)
第四引数: 連結ワード群2ファイル名(パスを含む)
:
:
:
第N引数: 連結ワード群N-2ファイル名(パスを含む)です。

例で説明すると

Windows の場合

第一引数: C:\write.txt
第二引数: 01 ← 左から群 1: 浮動、群 2: 固定の位置固定指示
第三引数: C:\word1.txt
第四引数: C:\word2.txt

Linux の場合

第一引数: /write.txt
第二引数: 01 ← 左から群 1: 浮動、群 2: 固定の位置固定指示
第三引数: /word1.txt

第四引数: /word2.txt
です。

4. 動作確認済み OS

64bit 版 Windows 8.1,Ubuntu14.04 日本語 Remix

5. 著作権

Copyright(C)2016 Katsutoshi Ishihara

6. 連絡先

電子メールアドレス Katsutoshi_Ishihara@yahoo.co.jp